

仲町地区 社協だより

仲町地区
社会福祉協議会
発行責任者
福地 稔 昌
仲町交流
センター内
TEL 21-5564
第一印刷(株)
TEL 22-6281

令和元年度 仲町学区敬老会を開催

9月14日(土)仲町小体育館において80歳以上の招待者475名の内、本人と代理出席で、300名の方が出席し、敬老会が開催されました。

第一部 式典の部

主催者を代表して福地実行委員長が挨拶した後、百歳以上の7名、米寿を迎えられた29名の紹介があり武士正員さ



主催者代表で挨拶をする
福地稔昌敬老会実行委員長



敬老作文を朗読する佐藤さん(右)
と馬場さん(左)

んが代表して顕彰を受けました。また、今回特別に武士様より御礼のお言葉がありました。この後、来賓代表として日立市副市長の吉成日出男様、平沢中学校長の小泉優子様より温かいお祝辞を頂きました。さらに仲町小学校1年生の佐藤さんと馬場さんの2人か

ら敬老作文の朗読がありました。最後に祝電が披露され、式典を終了しました。



顕彰者代表でほう状を受けた武士さん

武士様の御礼の言葉

この世に生まれて八十八年。戦中・戦後を生きてきた私達には、今日のような青春時代はありませんでした。地域の皆さんの温かい心遣い、小中学生や幼稚園保育園児の優しいおもてなしに接し、平和の尊さを強く感じました。心からお礼申し上げます。

一杯の湯茶に「六二三、八六、八九、八一五、五三に繋げ我ら今生く」と言う詞を想い出し、日立の戦禍に読み替え「六一〇、七一七、七一九、八一五、五三に繋げ我ら今生く」と呟きながら、戦争の愚かさ、悲惨さを若人に伝えることこそ、我ら老翁の為すべき仕事と決意しました。

第二部 演芸の部

最初は、かみね保育園の園児による、「荒馬踊り」で始まり、「平沢中吹奏楽部ハッピーステージ」もありました。今年の坂本九の歌は、「あしたがあるさ」でした。最後の演奏は、ヤングマン。アンコールの声が上がり、「夏祭り」の演奏がありました。

今年の特徴は、打楽器担当が元氣よく演奏しながら、体育館を3周ずつ、2回回ったことです。お疲れ様でした。

高鈴幼稚園児10人による元気いっぱいのおじいちゃんも おばあちゃんもとりずム「ドラえもん音頭」で敬老会に出席した人達を引き付けてくれました。尚、高鈴幼稚園は来年廃園になりますので、最後の演奏になりました。永らくありがとうございました。懐メロあったかサロメンバーは、「仰げば尊し」「ふるさと」「蛍の光」を合唱しました。

懐メロあつたかサロンとしての発表は、今回が最後になるかもしれない。来年も出場して頂きたいと思います。

仲町小学校児童5年による和太鼓「八木節」を元氣よく披露してくれました。

最後に、斉藤常吉さんが仲町小学校の生徒とのコラボレーションで「世界の国からこんにちは」を歌いました。その後、「網のし歌」「最上船頭流し歌」、「日立音頭」を熱唱されました。



かわいい高鈴幼稚園児による歌とリズム

最後の「日立音頭」では、観客、中学生の方々が飛び入り

参加で踊りを踊ってくれました。

今回も仲町小学校の児童と平沢中学校の生徒が実行委員と共に活躍してくれました。関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

国体おふるまい

10月4日「いきいき茨城ゆめ国体・ゆめ大会」で池の川さくらアリーナにおいて、おふるまいを実施した。全国からいらした方々に仲町地区社協



おふるまいをした皆さん

特製の豚汁をふるまった。300食の予定だったがカップを多めに用意していたため400食以上作ることが出来た。当日の朝は7時30分から交流センターで下ごしらえをし、11時からおふるまいの開始。競技はバスケット。体の大きな選手たちとの会話も楽しかった。何かの形で国体に参加したいと思っていたのでとても良い経験になりました。

令和元年度 日立市社会福祉協議会 「ふくしのつどい」

11月12日日立市社会福祉協議会主催の「ふくしのつどい」がシビックセンターホールで開催されました。仲町では四名の方が日立市社会福祉協議会から表彰されました。

- 民生委員児童委員功労者 川俣 功さん
- 福田博子さん
- 社会福祉活動協力援助者 及川悦子さん



顕彰された川俣さん(左)と及川さん(中央)神山さん(右)

神山國子さん
また、地域福祉講演会は、NPO法人福聚会石綱秀行氏と田谷啓子氏による「パートナーシップで地域の福祉力アップ」と題し、熱く語ってくださいました。

編集後記

今号は敬老会の特集と9月から11月までの事業を掲載しました。地域の情報提供をお待ちしています。